

# 患者に負担少なく

# バセドー病に内視鏡手術

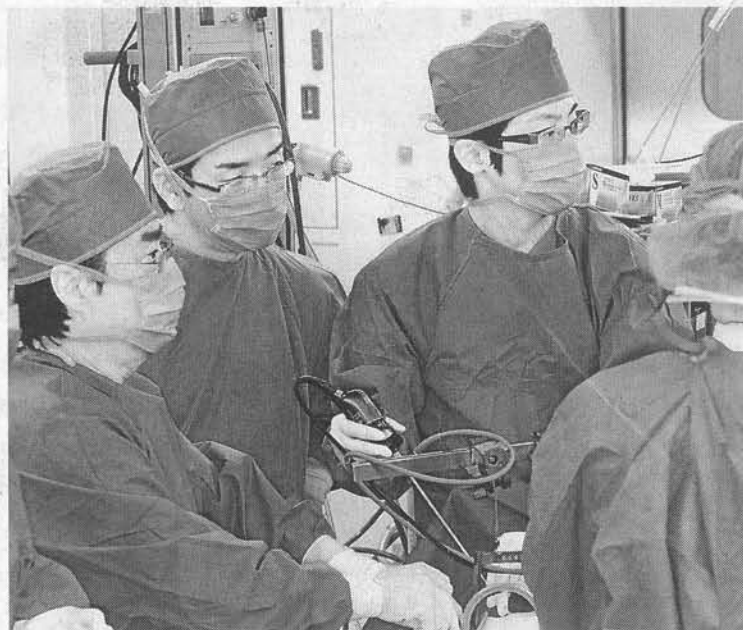
医療

福祉

健康

暮らし

バセドー病の内視鏡手術を行う清水一雄主任教授(左端)と片山昭公医師(左から2番目)ら17日、旭川医大(同大提供)



2011年  
10月21日 金

発行所：北海道新聞社  
札幌市中央区大通西3丁目6  
〒060-8711 電話：011-221-2111  
www.hokkaido-np.co.jp

読者センター  
011-210-5888

ご購入申し込み  
0120-464-104  
ヨムヨムドーン

北海道の  
ワインを  
旅する  
書店・道新販売所で発売中

# 北海道新聞

旭川医大が、甲状腺ホルモンが過剰に分泌されるバセドー病に、内視鏡を用いた手術を始めた。バセドー病の内視鏡手術は道内で初めて。傷口が小さくて済み、入院期間が短くなるなど利点が多い。同大はこの手術で「道内の拠点病院」を目指す方針だ。(旭川報道部 田口谷優子)

## 旭医大が道内初導入

### 傷口小さく、入院も短縮

甲状腺内視鏡手術の第一人者で日本医科大(東京)内分泌外科の清水一雄主任教授や、旭医大耳鼻咽喉科の片山昭公医師らが、50代女性に行なった。直径5ミリのスで10センチ程度開けた内視鏡を用い、画像をモニターで見ながら手術は進んだ。約2時間で終わり、患者は3日後の20日に退院した。

同大によると、従来は3センチ程度の傷口に、大きな傷痕がケロイド状に残ることがあった。だが、内視鏡手術は挿入のための5ミリの穴と、患部を取り出すために鎖骨の下を3

像以上に傷が小さく、安心しました」と笑顔で話した。甲状腺の病気が女性に多い。片山「い」と言う。

旭医大は手術代は保険適用されないが、そのほか入院費などに保険診療が適用される先

旭医大は手術代は保険適用されないが、そのほか入院費などに保険診療が適用される先

旭医大は手術代は保険適用されないが、そのほか入院費などに保険診療が適用される先

5センチ開く程度で済み。傷口は小さく、鎖骨の下は衣服で隠れやすい位置だ。手術を受けた女性

術後の病棟で「想像は、術後の病棟で「想像は、術後の病棟で」

従来の手術で、甲状腺をすべて切除した場合の手術代は保険が適

片山医師は「いつ先進医療の施設に認定されるか分からないが、一人でも多くの道民に体と心に優しい手術を提供したい」と話す。



バセドー病は甲状腺の腫れ、眼球のど仏の下にある甲状腺で作られる甲状腺ホルモンが過剰に分泌される病気。免疫の異常で起こる。女性に多い。症状は甲状腺の腫れ、眼球の突出、脈が速くなるなど。治療は分泌を抑える薬の服用、放射性ヨード入りカプセルの服用、甲状腺を切除する手術がある。